

ZEPHYROS

ゼフュロス No.65

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

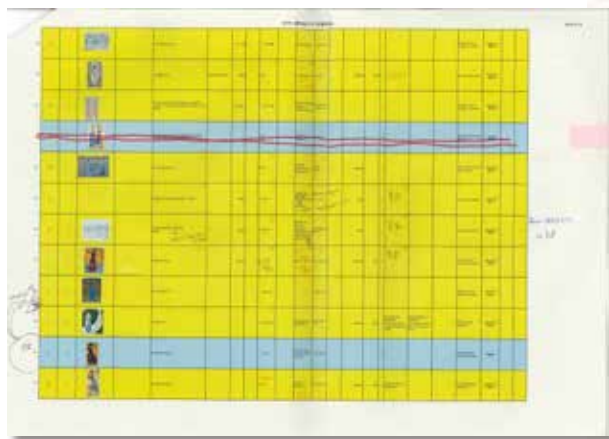
2015年11月20日発行

ISSN1342-8071



国立西洋美術館の
展覧会ができるまで

展覧会ができるまで



ホドラー展作品リストの編集



ホドラー展キャプションの校正

普段、この『ゼフェロス』の巻頭ページでは、国立西洋美術館で開催予定の展覧会のご紹介することがほとんどです。けれども、今回は少し趣向を変えて——というのは、10月に開幕した『黄金伝説』展の紹介は、すでに前号で担当の同僚が済ませているからなのですが……——いつもとはやや違ったことを書いてみたいと思います。つまり、なにか個別の展覧会についてではなく、「展覧会」と呼ばれるものそれ自体についてです。

美術館は、さまざまな経緯で集められた作品を、半恒久的に保存しながら展示する場所——端的にいえば、何よりも「コレクション」を維持していくための空間です。とはいえ、そこではまた、数々の「展覧会」が開かれます。それらは、そう長くはないサイクルで入れ替わってゆく仮設的で儚い存在です。

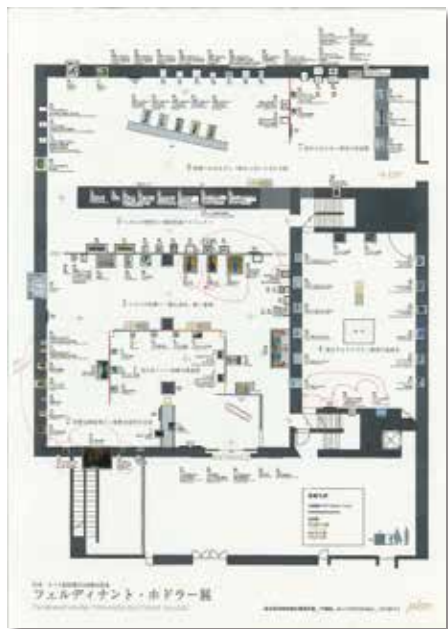
ただし、そのような展覧会の大半は、限られた会期よりもずっと長い準備期間を経て生まれてきます。一概にはいえませんが、この国立西洋美術館で開催される展覧会は、平

均すると4年程度の歳月を実現までにかかれています。それは、コンセプト・メイキングはもとより、内外の美術館やコレクターから作品を借りるための交渉にかかる月日です。たとえば、ある美術館から作品の借用を希望する場合、われわれはまず、先方に展覧会のコンセプトや構成を伝え、貸出のリクエストを出します。しかし、その可否はすぐには下されません。

その展覧会にほんとうに意義があるか否かの見極め、先方の美術館自身の展示計画や修復計画との兼ね合い、貸出先となるわれわれの美術館の設備や展示環境が適切であるかどうかの検討など、さまざまな審議が必要となるからです。最終的な貸出の可否が、数年にわたって決定されないことも、めずらしくありません。とくに、貸出作品が日本への輸送に耐えるかどうかの保存状態に関する判断、それを解決するための修復措置に、長い時間を要するケースが多いように感じます。当然ながら、その間にわれわれ自身が交渉に出

向いて展覧会の意義を伝えたり、出品に対する安心材料を示すことは、しばしばです。また、大手マスコミとの共催展の場合には、その作業を共同で行なうことも少なくありません。

こうして、いくつもの貸出の依頼を行ない、また返答を待ちながら、展覧会の出品リストや構成は決まっていきます。企画当初の希望リストは、それゆえ時間を追って何度も書き換えられます。コンセプトも、多少ならずとも変形していきます。その後、開幕まで一年を切ると、出品リストがおおよそ固まってくるのと並行して、本格的なカタログ制作、詳細な展示図面の作成、広報活動などが始まります。このとき、どんなデザイナー、どんな編集者と組むのかも、展覧会のキュレーションに大きくかかわってくるでしょう。さらに展示期間中の作品保存に携わってくださる修復家、輸



ホドラー展 展示図面



ホドラー展 展示模型

送／展示を担ってくださる輸送会社の方々も、美術館の展覧会には欠かせません。

展覧会——。その多くは、いつもは「ここ」にはいない作品たちが旅をしてきて一時的に集い、かりそめの地図のような展示空間を描きだし、またそれぞれの家へと帰ってゆく、いわば暫定的な宿、あるいは駅のような場です。そして、それらつかのまの出来事である展覧会の記憶が積層していくことで、美術館の「歴史」が形成されます。近年、欧米では、美術館やその他の場所で開かれてきた過去の展覧会の記憶＝歴史を整理し、再編集する仕事が目立ちます。そこにあるのは、展覧会がただ商業的なイベントにとどまるのではなく、また単に過去の芸術を回顧する場となるのではなく、むしろそれ自体が新たな「歴史」や「美術史」をつくってきたという意識です。もちろん、展覧会の主役は、展示されている作品たちです。しかし、それらがどういうキュレーションによって選ばれ、どんな旅支度を整えられて「ここ」に集い、いかに配置されているのかということにも関心をもっていたら、いまでもよりもっと、美術館が重層的な発見の場となるかもしれません。そんなことを思いながら、これからの展覧会の準備をしています。

(国立西洋美術館研究員 新藤 淳)

常設展より

《キリスト降誕》



ロレンツォ・レオンブルーノ・ダ・マントヴァ
《キリスト降誕》
1515年頃 油彩／板
国立西洋美術館

れたと伝えられる羊飼いでしょうか。背景に広がる景色は晴れやかで、キリストの誕生を寿ぐようです。

一方、黄色いマントを羽織ったヨセフは、静かに目を閉じています。その姿は、自分が体験した奇跡、すなわち妻マリアが精霊によって身ごもり、救世主となる子を産んだことに思いを巡らせているとも解釈されます。ヨセフは青々とした蔦が絡みつく崩れた建物の壁の一部に肘をついていますが、これらのモチーフには、

キリストの誕生による従来の世界の終焉と新しい世界の幕開けが示唆されているのでしょう。朽ちかけた厩にも象徴的な意味を見て取ることができます。神の子が産まれた場所であるにもかかわらず、非常に慎ましい佇まいを見せるこの厩には、キリストが常に最も貧しい者、弱い者とともにあるというメッセージが込められているのです。

(国立西洋美術館研究員 中田 明日佳)

キリストは約2000年前のクリスマスの朝に誕生したと伝えられます。イタリア・ルネサンスの画家ロレンツォ・レオンブルーノ・ダ・マントヴァ(1489-1537頃)の《キリスト降誕》は、生まれたばかりのキリストと聖母マリア、マリアの夫ヨセフらを華やかな色彩で描いた愛らしい作品です。

画面では、ゆりかごのキリストにマリアが乳を含ませようとしており、その様子を天使たちが恭しく見守っています。厩から顔を出して生まれたばかりのキリストを見つめる牛とロバの優しいまなざしも、場の親密な雰囲気を高めています。奥の木戸のそばでは、訪問者たちが天使に中に入るよう促されていますが、彼らはキリスト誕生の報せを聞いて祝いに訪

常設展

一般 430円(220円)

大学生 130円(70円)

*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料
(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。)

* () 内は20名以上の団体料金

グルリット事件と松方コレクション



エドゥアル・マネのカタログ・レゾネ（1932年発行）



同書の図版（図版下に「Matsukata」の名がみえる）

一昨年の秋、ドイツの週刊誌が報じたナチス略奪美術品のニュースは世界で一大センセーションを巻き起こした。ドイツ南部の古都ミュンヘンの私邸で第二次大戦以来行方知れずの絵画が大量に発見されたという、いわゆるグルリット事件である。事件は大きな波紋を呼び、個々の作品の正当な所有者を確認する作業はいまも続く。

事件の報道はヨーロッパ美術界に衝撃をもたらしたが、日本からすればいわば対岸の火事に過ぎなかった。ところが1通のメールを境に状況は一変する。膨大な作品群の中に日本人実業家・松方幸次郎の旧蔵品がみつかったという知らせが届いたのだ。それは近代絵画の父、マネが荒天の海を描いた1枚の絵であった。

メールの主はなぜ松方の名に行き着いたのだろう。ある作家の全作品を収録した目録のことを専門用語で「カタログ・レゾネ」というが、今回鍵を握ったのも、戦前に出版されたマネのカタログ・レゾネであった。記載内容から

所有者として松方の名が浮上し、当館に情報が照会されたのだ。

これを受けて当館も調査を進めたところ、大戦末期にナチス占領下のバリで当時のコレクション管理人が作品を売却したという証言記録と符合することが分かった。ただそのときの購入者が問題の画商グルリットなのか、何らかの強制が働いたのかまでは不明で、詳しい真相は闇に包まれたままだ。

いずれにせよ松方の旧蔵であることは間違いないだろう。美術界を騒がすナチス略奪品にまで紛れこんでいたことに松方コレクションの数奇な運命を思わずにいられない。この再発見を含め、当館はこれまでに松方コレクションの全容に光を当てようと努力を重ねてきた。そしていま、長年にわたる調査の成果を一冊の目録にまとめようという計画が動き出しつつある。

（国立西洋美術館学芸課情報資料室長

川口 雅子）

EVENT イベント

美術館でクリスマス

美術館でクリスマスを楽しみませんか？様々なプログラムを用意してお待ちしています。

期日：2015年12月12日(土)、13日(日)

● ギャラリートーク

常設展示室の作品の中から数点を取り上げ、当館ボランティアスタッフが解説を行います。

時 間：① 12:00～12:30

② 13:00～13:30

③ 14:00～14:30

集合場所：常設展示室の出入口付近

※参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。



● クリスマスキャロル・コンサート

クリスマスにちなんだ歌を集めたアカペラのコンサートです。予約不要、入場無料です。ご自由にお立ち寄りください。

時 間：① 11:00～11:40

② 15:00～15:40

※曲目は2回とも同じです。

場 所：本館ラウンジコーナー



● ワークショップ

「作って飾ろう クリスマスツリー、リース、天使があるよ!」

ボランティアスタッフと一緒に、クリスマスの飾りを作りませんか？大人から子どもまで、どなたでもお気軽にご参加ください。

時 間：10:30～15:30

場 所：常設展示室(新館2階休憩室)

※参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。



※イベントのタイトル・内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル(03-5777-8600)でご確認ください。

Museum shop

ミュージアム
ショップ

おすすめ本

ル・コルビュジエを
知るために

●『ル・コルビュジエの国立西洋美術館』

藤木 忠善著

鹿島出版会 3,000円 (税抜)

当時本館の建設に携わった著者が、自身の撮りためた写真をはじめ、図版も多く用いて本館の建築とその経緯を理解できるよう努めた解説書です。



●『新装版 ル・コルビュジエ 建築・家具・人間・旅の全記録』

株式会社エクスナレッジ 2,400円 (税抜)



初期の木造建築や旅の手帖スケッチなど知られるコルビュジエが満載。ル・コルビュジエのすべてが凝縮された1冊です。

絵画のご鑑賞と共に建築への関心もより深めていただき、国立西洋美術館をお楽しみください。

Café

カフェすいれん

おすすめケーキ

11月 ドウショコラ

ミルクチョコレートとビターチョコレートの2層のムースにナッツをトッピングしました。



●ケーキ (単品)

486円 (税込み)

●ケーキセット (ドリンク付)

788円 (税込み)

12月 白金タルト

アーモンドタルトの上に苺やキウイなどのフレッシュフルーツを盛り付けました。



チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。) 詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2015年11月～2016年4月

休館日 土・祝日

NOV 11 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月

黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝)(企画展示室)

常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)

DEC 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木

黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝)(企画展示室)

常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)

年末年始休館
12月28日(月)
～1月1日(金・祝)

JAN 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日

黄金伝説展 古代地中海世界の秘宝 10月16日(金)～2016年1月11日(月・祝)(企画展示室)

常設展一部(本館)閉室 10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)

全館休館
1月12日(火)～2月29日(月)

FEB 2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水

全館休館1月12日(火)～2月29日(月)

MAR 3 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木

日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展 2016年3月1日(火)～6月12日(日)(企画展示室)

常設展示室閉室 3月1日(火)～3月18日(金)

APR 4 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土

日伊国交樹立150周年記念 カラヴァッジョ展 2016年3月1日(火)～6月12日(日)(企画展示室)

●年末年始休館・臨時開館・臨時休館・一部閉室のお知らせ

- *11月2日(月)、11月23日(月)、2016年1月4日(月)、1月11日(月)、3月28日(月)は開館します。
- *2015年10月10日(土)～2016年1月11日(月・祝)は施設整備のため本館展示室を閉室します。
- *2015年12月28日(月)～2016年1月1日(金・祝)は年末年始休館となります。
- *2016年1月12日(火)～2月29日(月)は館内整備のため全館休館します。
- *2016年3月1日(火)～3月18日(金)は常設展示室を閉室します。

●常設展示「新館」

2016年1月11日(月・祝)まで、常設展は新館のみで開催しています。ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から20世紀初頭までの西洋絵画を展示しています。

(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとり、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまだまの花々を運び春の風をさします。

ZEPHYROS

第65号

編集・発行 国立西洋美術館/2015年11月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット